

令和八年の新春を迎え、はたちの節目を迎えられる皆さん、
本日は、誠におめでとうございます。

大きな希望と期待をもつて、本日の「はたちのつどい」に
臨まれていることと存じます。

昨年は、日本人がノーベル賞をダブル受賞するという輝かしい
年となりました。生理学・医学賞を受賞された大阪大学の坂口
志文特任教授は、会見で「研究は一人ではできない」と振り返り、
化学賞を受賞された京都大学の北川進特別教授は、ご自身を
「遅咲き」だったと謙虚に語っておられます。

長年の研究が実を結んだお二人は、自らの信じる道を何十年も
探求し続けた姿勢を示されました。

先が見えなくても歩みを進めなければならぬ時、不安な
気持ちを払拭してくれるのは、努力を継続してきた自分自身と
信頼できる周りの人たちであります。

はたちの節目を迎える皆さん、どうか、その純粋な眼差しと
バイタリティー溢れる行動力で未来を切り拓いてゆかれ、逆境
や苦難に直面しても、自分の可能性と周りの人の優しさと思い
やりを信じて努力を重ね、世界に向け、大輪の花を咲かせてく
ださいますよう期待しております。

私も、「大隅・霧島・熊毛の元気が日本の未来をひらく！」
をモットーに、国家及び地域進展のため

精魂込めて頑張つてまいります。

ご出席各位のご健勝とご多幸を

お祈りし、お祝いのことばと

いたします。

令和八年一月吉日

自由民主党鹿児島県連会長

衆議院議員

森山

裕

